

令和8年度 ワイワイトーク企画案

I 趣旨

第3期子ども・若者ワイワイプランの取組状況の評価にあたり、子どもに関する施策について子どもの意見を聞いて反映する（西東京市子ども条例第13条、26条、こども基本法第11条）ため、意見を聞く機会を設ける。

令和7年度の「子ども会議」の実施内容に準じて開催し、子どもの権利を尊重した取組とする。

2 取組のポイント

- ・子どもが自身の意見をまとめるために必要な事前学習の機会や準備の期間を設ける。
- ・子どもが安心して意見を発表できるよう、参加者同士や環境に慣れるステップを設ける。
- ・純粋な意見を引き出せるよう、子どもと接するスタッフは大学生とする。
- ・子どもの意見に対して、市のコメントをまとめたフィードバック資料を作成し送付する。

3 意見を聞く施策・事業

子どもの意見表明の機会の充実について

※ワイワイプランの重点的な取組から、評価・検証を行う組織（子ども・若者審議会専門部会）が選定した。

4 実施時期と場所

実施時期：令和8年7月中（予定） ※参加者募集期間：令和8年5月8日（金）～6月8日（月）

場所：武蔵野大学内（5号館を使用予定）

5 対象者

小学4年生から高校生年代まで 45人（最大10グループ）

6 協力先

・武蔵野大学 中西 真 准教授、中西ゼミの学生

※協力内容は、Day1～3に必要な事前学習を経て、当日の進行とファシリテーターの役割を担うことを想定。

参加者募集、当日の掲示物・進行表などの作成や物品準備等は子ども若者応援課が行う。

7 事業の流れ（昨年度2日間→3日間に変更）

事前準備

参加者に、「子どもの意見表明」についての説明文とプリントを送付し、「自分の体験としての意見表明の機会」について、どんな機会があったか、どんな機会があるとさらに良いか、を簡単に考えてプリントに書いてきてもらう。

Day1 事前学習 7月4日（土）9時30分～12時30分

- (1) アイスブレイクとしてキャンパスツアーを実施（仮）
- (2) 市の「子どもの意見表明」の実施状況を説明し、理解を深める。
※子ども条例、ワイワイプランについても併せて説明する。
- (3) 説明を聞いて、さらに市の職員に聞きたいことはあるか（気になった取組など）、また自分の考えてきた、「体験した意見表明の機会」と、「どんな機会があったら良いか」をグループ内で共有する。
- (4) グループで出た「どんな機会があったら良いか」についてまとめてもらう。
(市で実施している内容であれば、次回、市の担当課職員が説明し、直接子どもと話ができる時間を設ける。)

Day2 グループワーク 7月11日(土) 9時30分～12時30分

- (1) 前回グループで話し合った「どんな機会があったら良いか」について、市で実施している内容を市の担当課職員が来て説明する。
- (2) 市で実施している内容を聞いた後、市の意見表明の取組が十分か、またどのような機会が増えると意見が明しやすいかをグループで話合う。
 - ・(良いところ)自分が「あったら良いな」と考えてきた意見表明の機会について、市で実施している内容に当てはまっていたのであれば、市は取組ができていると言える。
 - ・(改善点)自分が「あったら良いな」と考えてきた意見表明の機会について、市で実施している内容の説明に含まれていなかった、周りでもそんな機会がなかったのであれば、改善点になるので、その内容についてグループで話し合い「もっとこういう機会が増えてほしい」というところをまとめる。
- (3) 話し合った内容を、模造紙にまとめる

Day3 発表 7月12日(日) 9時30分～12時30分 (市長、副市長、教育長 参加調整する)

発表の準備をしてから、グループごとに発表する。保護者、(子ども・若者審議会専門部会委員)にも見学していただく。

8 ワイワイトーク実施後の取組

子どもの意見に対する市からのフィードバック(9月ごろ)

ワイワイトークで子どもからもらった意見に対して、庁内で事業担当課からのコメントを作成し、コメントをまとめた資料を「市からのフィードバック」としてワイワイトーク参加者へ送付する。

フィードバック資料は、ワイワイトークの実施報告と併せて、市HPでも公開する。

市とワイワイトーク参加者の意見交換会(1月ごろ)

フィードバック内容をどのように施策へ反映したのかなど、子どもの意見がどのように取り扱われたかを市からお伝えして、それに対してワイワイトーク参加者と市(市長、副市長、事業担当課職員、市若手職員など)が意見交換する会を設ける。

西東京市役所での実施を予定。